

笠岡市長から市民の皆様へのメッセージ

岡山県では、新型コロナウイルス感染症の第8波の拡大で、直近の病床使用率は72.8%に達し県内の医療供給体制がひっ迫し、救急医療にも大きな影響を与え、救える命が救えない状況になりつつあるとして、感染状況に関するレベルを3の医療負荷増大期に引き上げました。

こうした状況から「医療ひっ迫を軽減するための緊急のお願い」を発出し、県民に対して「重症化リスクが低い方の抗原定性検査キットによるセルフチェック」、「医療機関の平日受診」、「救急車の利用や救急外来の受診は、真に必要な場合のみ」の適切な医療受診への協力を強く要請されています。

1月11日に開催された国の専門家会議によると、今後の感染状況については、全国的に増加が継続し、多くの地域で増加傾向の継続が見込まれると評価されており、また、アメリカではXBB系統の亜系統であるXBB1.5系統が増加傾向にあり、国内でも同系統が確認されています。WHOは、感染が広がり始めているオミクロン株の新系統XBB1.5について、感染者数増加の一因になっている可能性があるとしてされています。

笠岡市においては、第8波により、児童、生徒を始め高齢者まで感染が増えていますので、引き続き、3密（密閉・密集・密接）の回避や定期的な換気など基本的な感染防止対策の徹底や、マスクコードの遵守、高齢者や基礎疾患があるなど重症化リスクの高い方や、日常的にそれらの方と接する方は、混雑した場所や感染リスクの高い場所へ外出する場合は、感染防止策をより一層徹底することや、会食は出来るだけ少人数、短時間、感染防止策が徹底されている店の利用をお願いします。

また、ワクチンには感染症の発症や重症化を防ぐ効果が認められているため、早期のワクチン接種の検討をお願いします。現在、笠岡市では、ファイザー社製オミクロン株対応ワクチンを使用して市内17箇所の病院・クリニックでワクチン接種をすすめています。接種については十分な空きがございますので、ぜひコールセンターにお問い合わせください。さらに、インフルエンザにつきましても、1月6日に岡山県から「インフルエンザ注意報」が発令されていますのでインフルエンザの予防にも十分気を付けてください。インフルエンザワクチンは新型コロナワクチンと同時接種が可能ですので、インフルエンザワクチン接種につきましてもご検討ください。家族の一人が感染をすると家庭内で感染が広がる事例が多く見られます。家族を守るためにも早めのワクチン接種をお願いします。

市民のみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

令和5年1月13日

笠岡市長 小林嘉文

市民のみなさまへお願いしたいこと

○基本的な感染対策の徹底

マスクコードの遵守や、手洗い、手指消毒、3密（密閉・密集・密接）回避、定期的な空気の入れ替えによる換気など、引き続き基本的な感染対策の徹底をお願いします。

会食はできるだけ少人数、短時間、大声を控え、感染防止策が徹底されている店の利用をお願いします。

○体調不良時の備え

発熱等の体調不良時に備えて、抗原検査キットや自宅療養に必要な解熱鎮痛薬等をあらかじめ購入しておきましょう。

○早期のワクチン接種

ワクチンには感染症の発症や重症化を防ぐ効果が認められているため、早期のワクチン接種の検討をお願いします。